

3. 商工・労働

	タイトル	意見等
1	新たな地域商社について	○後藤田正純徳島県知事が新たな地域商社の設立におけるスタートアップ時には、三菱商事と一体となつてトップセールスで新規販路開拓と更なる販路拡大をしなければならない。 ※ 具体的には、阿波米を台湾や香港に売り込む。 ※ 具体的には、阿波酒をアメリカや欧州に甘口のワインとして売り込む。(松浦酒造の鳴門鯛) ※ 具体的には、すだち阿波牛をアメリカにステーキ用阿波牛で売り込む。
2	経済財政政策について	○ 後藤田正純徳島県知事は新藤義孝内閣府特命担当国務大臣を通じて、徳島県を「徳島経済技術開発構造改革特区」にしなければならない。 ※ 「徳島県版ニュー・デール経済政策」の発動を行う。⇒国土強靱化計画で吉野川第十堰の可動堰化を行う。 ※ 徳島小松島港を「国際拠点港湾」にする。⇒徳島県を「国際物流流通立県 とくしま」にする。
3	バッテリーバレイ構想	蓄電池事業がこれからの産業の大きな目玉になるのは理解できます。そこに向けて研究や産業誘致はぜひともすすめていってほしいと思います。ただ、企業や教育のほうにばかり目が向いているようなので、もっと地元を見てほしいと思います。 経験上、徳島でリチウムイオン製品を捨てることが出来ません。特に中央から離れるほどその状態が顕著です。 充電池製品を購入することを躊躇するレベルで捨てる場所がありません。世に充電池製品はあふれてきていますが、捨てることが出来ないで家の空きスペースにほったらかしになっていることが多いのではないのでしょうか。出火の危険がありますとアナウンスはしても、引き取り口がないのでどうすることもできません。県民あげて充電池事業を応援してほしいのなら、この問題を解決してこそそのバッテリーバレイ構想ではないでしょうか？